

令和8年度みやぎジョブカフェ運営業務企画提案に係る質問への回答

N o	質問	回答
1	<b>【別紙 1】みやぎジョブカフェ運営業務</b> ジョブカフェ施設内には配属する人員が最大何名着席できますか。	ジョブカフェ運営スタッフ用として1 1 席分の事務机を県で設置しています。 なお、委託事業費内で新たにミーティングテーブル等を設置することにより、追加で3～4 席程度確保可能です。
2	<b>【別紙 1】みやぎジョブカフェ運営業務</b> KGI（就職決定）を最上位に置く理解でよいか。 県として「就職決定」を最重要成果とする場合、KPI の優先順位（例：相談件数・セミナー回数・企業支援件数等）をどう位置付けるか、公式見解を示していただきたい。	・本業務では「就職者数」を重要な運営指標の一つと位置づけていますが、「就職者数」のみを最上位とするものではありません。 ・仕様書で求めるキャリアコンサルティングの相談件数、セミナー実施回数、支援対象企業数といった量的指標に加え、支援内容が業務目的に適合しているか、利用者・企業への関わりの質といった定性的な側面も踏まえ、実施状況と支援内容を総合的に事業評価します。運営目標実現に向けた効果的な内容を提案願います。
3	<b>【別紙 1】みやぎジョブカフェ運営業務</b> キャリアコンサルタントの配置について <b>【共通事項 6（3）キャリアコンサルタント、別紙 1 4（イ）キャリアコンサルティング等】</b> キャリアコンサルタントの「常時配置」および相談枠運用について、次のとおり確認させてください。 ①・「常時配置」とは、開館時間中にジョブカフェ内へ最低何名のキャリアコンサルタントを常駐させる趣旨でしょうか（例：最低●名以上、相談枠数相当 等）。 ②・別紙 1 4（イ）に記載の相談枠数（例：平日 10–18 時は 4 枠×7 コマ等）は、事前予約枠として常時全枠を開放する必要がありますか。 また、同条の「閑散期・繁忙期等に応じた柔軟な運用（発注者と協議）」の規定に基づき、予約状況に応じた枠数の増減や、当日受付（飛び込み）対応へ一部振替する運用は可能でしょうか。 ③・「施設内相談ブース数：常時 5 ブース…」は、相談ブース（設備）の物理的確保を求める趣旨との理解でよいでしょうか。相談枠の標準が 4 枠であることを踏まえ、常時 5 名配置を必須とする趣旨ではないとの理解で差し支えないでしょうか。	①仕様書【別紙 1】4（イ）で求める相談枠数を満たす人員を配置願います。  ②・原則として常時全枠を開放ください。 ・時期や予約状況に応じ、協議により御認識のと通りの運用とすることを想定しています。  ③・施設内には対面相談用として常時7ブース（仕様書【別紙1】4 摘要）を設置していますが、キャリアコンサルタント7名の常時配置を求めるものではありません。 なお、キャリアコンサルタントは、仕様書【別紙 1】4（イ）で求める相談枠数を満たす人員を配置願います。
4	<b>【別紙 1】みやぎジョブカフェ運営業務</b> 「ものづくり人材確保支援」の対象範囲について ものづくり”の定義（業種・職種・企業規模）と、対象者（年齢、在職/離職、経験）および「成果」の考え方（採用決定/定着/応募増など）を確認したい。	・ものづくりの定義：日本標準産業分類で定める「製造業」を想定しています。職種や企業規模は問いません。 ・対象者：みやぎジョブカフェの利用登録者が対象となります。 ただし、委託業務内容「へ②高校、高等技術専門学校等でのキャリア教育セミナーの企画・実施」については、県内の高等学校や高等技術専門学校等においてセミナーを実施するものであり、生徒、保護者、教職員等を対象（ジョブカフェ利用登録不要）としています。 ・成果：開催回数及び参加人数を標準目標とし、就職者数等は「6 運営目標」に含みます。 その他、運営目標実現に向けた効果的な内容を提案願います。

令和8年度みやぎジョブカフェ運営業務企画提案に係る質問への回答

N o	質問	回答
5	<b>【別紙2】みやぎジョブカフェ東京サテライト運営業務</b> 首都圏でのチャンネル優先順位（大学/転職媒体/コミュニティ/イベント等） 県として「最も効く」と見ているチャンネル、また過年度で効果が高かったチャンネルがあれば開示可能でしょうか。	UIターン就職に向けては学生に対するアプローチが重要であり、そのためには大学との連携（大学訪問、学生向けイベント・保護者会等への出席）が最も効果的であると見ています。
6	<b>【別紙2】みやぎジョブカフェ東京サテライト運営業務</b> ジョブカフェ本体との一体運営ルールについて 週次会議・共通記録・共通 KPI の「最低必須」レベル（会議頻度、参加者、議題、レポート形式）を確認したい。	「最低必須レベル」の具体的な指定はしませんが、相談業務等の円滑な運営及び各KPIの達成に支障がないような連携体制・情報共有体制を提案願います。
7	<b>【別紙3】学生 UIターン就職応援補助金審査業務</b> システム/台帳の指定有無について 県側指定の管理ツール（様式、入力項目、データ連携）がありますか。	管理データへの入力項目については指定があります。管理に使用する様式・ツールについて指定はありません。
8	<b>【別紙4】移住支援金対象求人広告作成支援等業務</b> セミナー（企業向け）60社の「参加企業」定義について 仕様書の「セミナー参加企業数 60社」は、1社複数回参加の扱い、オンライン参加の扱い、対象企業属性（移住支援金対象/候補）をどう数えますか。	1社が複数回参加する場合にはその都度参加企業数として数えて差し支えありません。また、参加形式のオンライン・対面は問いません。参加企業数を数える際に企業の属性は問いませんが、セミナー内容としては「移住支援金対象求人」を扱うものとしてください。
9	<b>【別紙5】学生の県内就職促進プログラム事業</b> インターン KPI のカウント定義について 「受入学生数 300 人」「参加学生 100 人」の重複計上、学年、オンライン、短期/長期、複数社参加の扱いを確定したい。	重複計上（1人で複数社を複数カウント、1社に1人が複数回参加を複数カウント）はいずれも差し支えありません。学年、オンライン・対面の別、短期・長期の別も問いません。
10	<b>【別紙5】学生の県内就職促進プログラム事業</b> 3 委託業務の内容＞（2）合同企業説明会の開催＞ロ 職種別小規模合同企業説明会の実施について 令和7年度以前における実施実績があれば、その状況（実施概要や実施回数・規模等）をご教示いただきたい。また、令和8年度の実施時期欄が不記載となっているが実施時期に限定があればお示しいただきたい。	新規の取組となりますので、令和7年度以前の実績はありません。令和8年度の実施時期については、事業者決定後に発注者と協議の上決定することとしております。